

手順	指導時の留意点
<p>1. 準備</p> <p>① 内服指示箋で、患者氏名・薬品名・用法・用量の確認</p> <p>② 必要物品を準備する 内服薬、処方箋、トレイ、必要時白湯や薬杯</p>	<p>少しでも疑問や不安がある場合は、実施前に指導者等に申し出ることを強調しておく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストで不十分な点は、指導や自己学習等後、再評価を行い、曖昧なままとしない <p>1. 準備</p> <p>○新人看護職員の学習準備状況の確認 目的、薬剤の知識、リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6R・3度の確認の意味と必要性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※6つの Right</p> <p>Right Patient (正しい患者)</p> <p>Right Drug (正しい薬)</p> <p>Right Purpose (正しい目的)</p> <p>Right Dose (正しい用量)</p> <p>Right Route (正しい用法)</p> <p>Right Time (正しい時間)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※3度の確認</p> <p>保管場所から薬袋を取り出すとき</p> <p>薬袋から薬を取り出すとき</p> <p>薬袋を保管場所に戻すとき</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに経験した内容や回数 <p>○対象患者にこの薬剤を与薬する理由を把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象患者の把握(薬剤禁忌、アレルギーの有無) <p>以上を確認後、準備を見守り、ベッドサイドへ同行する(不十分な場合は見学とし、自己学習を促す)</p> <p>準備の際、作業は中断しないように指導する 途中で他の患者から声をかけられるなど、業務を中断した場合には、再度手順の最初から実施する</p>

<p>2. 実施</p> <p>① 患者への挨拶・言葉かけを行う</p> <p>② 患者の観察 誤嚥防止のため意識状態の観察 必要時食事摂取状況の確認</p> <p>③ 患者氏名の確認 フルネームで名乗ってもらい、または患者 識別バンド等での確認</p> <p>④ 患者への説明および同意を得る</p> <p>⑤ (可能な場合) 患者と共に薬剤・氏名を確認</p> <p>⑥ 誤嚥防止のための体位(前屈座位が望ましい) を援助する</p> <p>⑦ 内服薬を与薬する 確実に服用されたか、確認する</p> <p>⑧ 内服後の観察(特に呼吸状態)</p> <p>⑨ 使用した物品を片付け、患者の体位、周囲 の環境を整える</p> <p>⑩ 患者への挨拶・言葉かけをして退室</p> <p>⑪ 必要に応じ、バイタルサインなど、与薬後の 患者状態を観察する</p> <p>3. 後片付け、実施記録</p> <p>① 使用した物品類を定位置へ戻し、手洗いを行 う</p> <p>② 内服薬与薬の実施記録(押印、サインなど含 む)をする</p>	<p>2. 実施 見守りながら、不十分な点をサポートする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者状態のアセスメント、誤嚥防止 ・剤型(散剤・錠剤・水薬)や量が対象患者に適 切か確認できる ・言葉かけをしながら観察できる <ul style="list-style-type: none"> ・患者誤認の防止ができる(フルネームでの確認 を習慣づける) ・一方的でない、ゆっくりとわかりやすい説明が できる ・患者参画を促すことができる <ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥防止のため、適切な体位への援助ができる 必要時、安楽枕やクッションを利用する ライン類が留置されている場合は、引っ張ら ないように特に注意する ・内服後の誤嚥防止に注意できる ・安全に配慮した環境調整ができる <ul style="list-style-type: none"> ・与薬後の観察が必要な薬剤・患者状態の把握が できる <p>3. 後片付け、実施記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施記録を確認する ・一連の看護行為の振り返りを一緒に行い、プ ラスのフィードバックとなるように、チェック リストに沿って、出来たところと次回の目標を 確認する
---	--

内服薬与薬チェックリスト

氏名 ()

◎：一人でできる ○：支援があればできる

目標到達期間 □1ヶ月 ■2ヶ月

確認項目	実施 月日	自己 評価	他者 評価
①内服薬与薬について、基本的知識・技術（薬剤の作用副作用、目的、与薬時の注意点など）、安全面のルールを述べることができる			
②指示書に書かれてある内容が理解でき、説明できる			
③内服薬の薬理作用を述べ、当該患者に投与する理由を述べることができる			
④必要物品が準備できる			
⑤患者への挨拶、言葉かけができる			
⑥患者氏名の確認をフルネームで行うことができる			
⑦患者状態の観察、アセスメントができる			
⑧患者へわかりやすい説明を行い、同意が得られる （質問時、答えることができる）			
⑨与薬時、適切な体位が援助できる			
⑩与薬行為を安全・正確に行うことができる			
⑪内服後の患者状態を観察できる（特に呼吸状態）			
⑫周囲の環境を整備し、患者へ挨拶をしてから退室できる			
⑬必要時、実施内容を指導者等に報告できる			
⑭必要時、看護記録に記載できる			
コメント（今後へのアドバイスなど）			